

招待講演：

脳とコンピュータの融合は何をもたらすのか？

伊藤 浩之†

近年の生体信号測定技術の進歩に伴い、人の脳活動を記録し、コンピュータが記録データをリアルタイムに判別することで、筋肉を動かすことなく、まさに「考えるだけで」外部物理デバイスを操作するという技術が注目を集めている。これは、昔から「念力カーソル」として噂されてきた技術であり、攻殻機動隊やマトリックスなどの SF で描かれている世界へとつながる一步であるとイメージすると分かり易い。脳神経科学と工学（コンピュータ、ロボティクスなど）を融合させるこれらの試みは、ブレイン・マシン・インタフェースやブレイン・コンピュータ・インタフェースと呼ばれている。講演では、この新奇な研究分野の簡単な紹介を行う。特に、脳科学研究に対して何をもたらす可能性があるのか、またどのような問題点（研究方法、倫理、社会問題など）が予想されるのかをわかりやすく説明する。

---

† 京都産業大学